

I 調査概要

1 調査の目的

地域運動部活動の実践に関わる各関係者の意見を集約し、令和 5 年度以降における休日の部活動の段階的な地域移行に向けた課題や成果を取りまとめる。

2 調査対象

- ・ 地域運動部活動 生徒（活動に参加しない生徒含む）
- ・ 地域運動部活動 生徒の保護者（活動に参加しない生徒の保護者含む）
- ・ 地域運動部活動 指導者
- ・ 学校部活動 顧問および副顧問
- ・ 学校関係者
- ・ クラブ代表者

3 調査方法

ウェブアンケート形式

4 調査期間

令和 4 年 1 月 1 日から令和 4 年 1 月 3 1 日

Ⅱ 調査結果

1 生徒回答結果

(1) 調査回答件数 129 件

(2) 回答者の属性

■問 1-1 性別（単一回答）

	男性	女性	全体
回答件数（件）	83	46	129
割合（％）	64.3%	35.7%	100%

■問 1-2 学年（単一回答）

	1 年生	2 年生	3 年生	全体
回答件数（件）	61	61	7	129
割合（％）	47.3%	47.3%	5.4%	100%

■問 1-3 部活動種目（単一回答）

	柔道	剣道	サッカー	バドミントン	バスケットボール	ボート	全体
回答件数（件）	19	21	24	32	12	21	129
割合（％）	14.7%	16.3%	18.6%	24.8%	9.3%	16.3%	100%

■問 1-4 地域運動部活動の参加状況（単一回答）

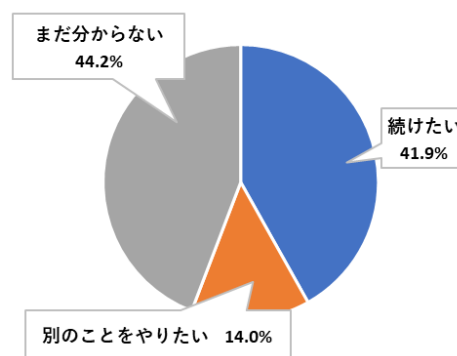
	参加	不参加	全体
回答件数（件）	116	13	129
割合（％）	89.9%	10.1%	100%

(3) 集計結果

■問 1-5 現時点で、所属している部活動の競技を高校生になっても続けたいですか。（単一回答）

回答者数=129 人

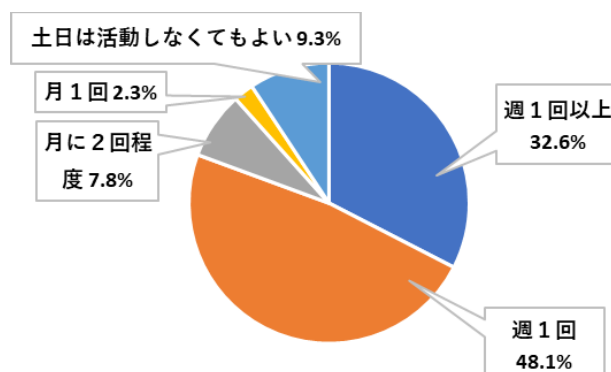
選択肢	回答数(件)	割合(%)
続けたい	54	41.9%
別のことをやりたい	18	14.0%
まだ分からない	57	44.2%
合計	129	100%



■問 1-6 所属している部活動の競技について、休日（土曜や日曜日）にどれくらい活動したいですか。
（単一回答）

回答者数＝129 人

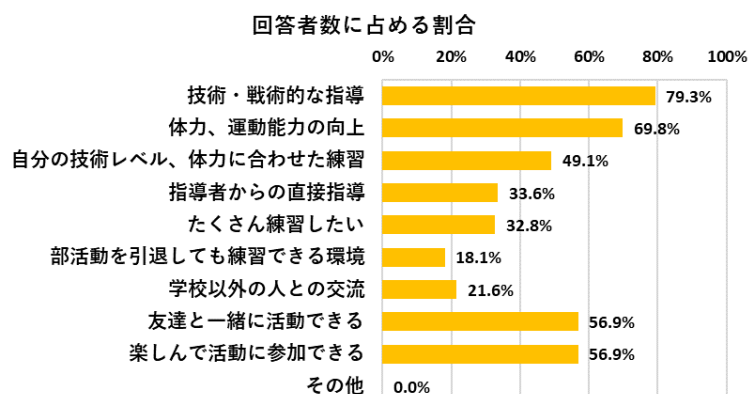
選択肢	回答数(件)	割合 (%)
週 1 回以上	42	32.6%
週 1 回	62	48.1%
月に 2 回程度	10	7.8%
月に 1 回	3	2.3%
土日は活動しなくてもよい	12	9.3%
合計	129	100.0%



■問 1-7 休日のクラブ活動にどのようなことを期待していますか。（複数回答）

回答者数＝116 人（地域運動部活動に参加する生徒）

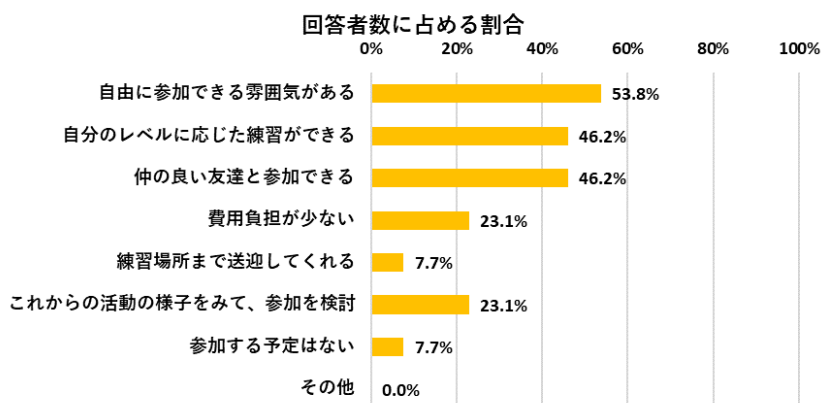
選択肢	回答数(件)
技術・戦術的な指導	92
体力、運動能力の向上	81
自分の技術レベル・体力に合わせた練習ができる	57
指導者からの直接指導	39
たくさん練習したい	38
部活動を引退しても練習できる環境	21
学校以外の人との交流	25
友達と一緒に活動できる	66
楽しんで活動に参加できる	66
その他	0



■問 1-8 どのような環境であれば、参加してもよいと思いますか。（複数回答）

回答者数＝13 人（地域運動部活動に参加しない生徒）

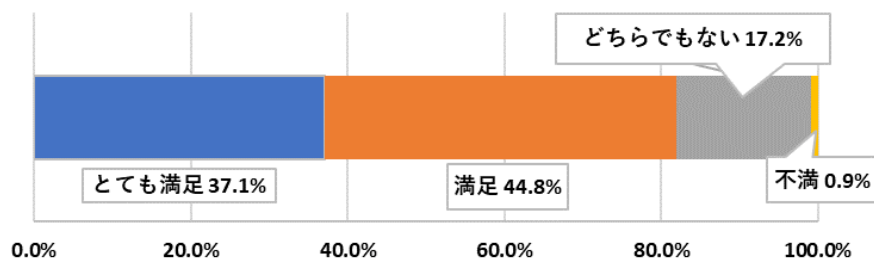
選択肢	回答数(件)
自由に参加できる雰囲気がある	7
自分のレベルに応じた練習ができる	6
仲のよい友達と参加できる	6
費用負担が少ない	3
練習場所まで送迎してくれる	1
これからの活動の様子を見て、参加を検討	3
参加する予定はない	1
その他	0



■問 1-9 休日のクラブ活動の指導に満足しましたか。(単一回答)

回答者数=116 人 (地域運動部活動に参加する生徒)

	とても満足	満足	どちらでもない	不満	とても不満
回答数(件)	43	52	20	1	0
割合 (%)	37.1%	44.8%	17.2%	0.9%	0.0%



問 1-9 の選択理由

○「とても満足」、「満足」と答えた生徒の主な意見 (81.9%)

- ・技術的、戦術的な指導が受けられる。
- ・指導が丁寧でわかりやすい。
- ・直接指導を受けることができる。
- ・自分の技術にあった指導が受けられる。
- ・自分の良い点、直さないといけない点が分かった。
- ・技術・体力の向上を実感できている。
- ・練習内容が充実した
- ・活動が楽しい、充実した。
- ・もっと地域指導者からの指導を受けたい。

○「どちらでもない」「不満」と答えた生徒の主な意見 (18.1%)

- ・部活動の延長で満足感が得られなかった。
- ・活動回数が少なく、まだ判断できない。
- ・練習が（活動回数が多く）体力的につらい
- ・もっと練習内容を厳しくしてほしい
- ・地域指導者からの指導をもっと受けたい

■問 1-10 休日のクラブ活動について、あなたの意見をお聞かせください。（自由記述）

回答
○地域運動部活動に参加する生徒の主な意見 ・クラブでの活動回数、時間を増やしてほしい。 ・現在の活動で満足している。 ・練習内容が充実してよい ・技術が向上して楽しい、うれしい。 ・チームメイトと練習する時間が増えてよかった。 ・みんなと一緒に練習できるから楽しい ・もっと地域指導者からの指導を受けたい。 ・休みが少ない。 ・技術指導だけ（体力的な練習だけ）ではつまらない ・部活動とスポーツクラブでの活動の違いが分からない。 ・勉強との両立ができない ・他の学校の生徒と練習できて良い ・集合時間が早かったり、活動場所まで遠いと交通手段に困る。 ・大会に勝てるように頑張りたい。 ・自分の都合に合わせて参加できるのがよい ・休むとヤル気がないと言われる事に不安を感じる。 ○地域運動部活動に参加しない生徒の主な意見 ・参加するかどうかまだ分からない。

2 保護者回答結果

(1) 調査回答件数 139 件

(2) 回答者の属性

■問 2-1 こどもが所属する部活動種目（単一回答）

	柔道	剣道	サッカー	バドミントン	バスケットボール	ボート	全体
回答件数（件）	15	21	25	39	19	20	139
割合（％）	10.8%	15.1%	18.0%	28.1%	13.7%	14.4%	100%

■問 2-2 子どもの地域運動部活動の参加状況（単一回答）

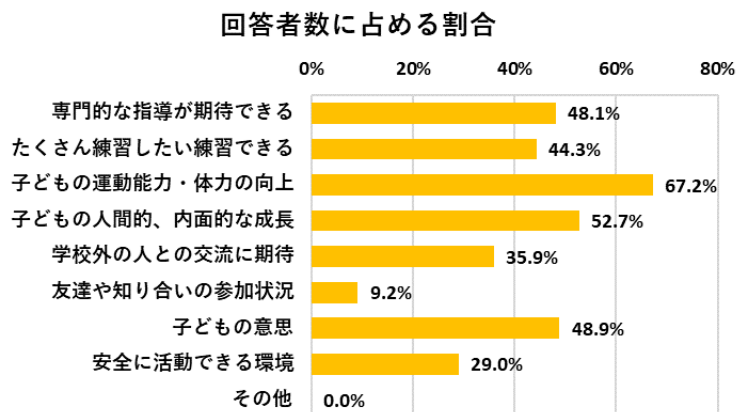
	参加	不参加	全体
回答件数（件）	131	8	139
割合（％）	94.2%	5.8%	100%

(3) 集計結果

■問 2-3 子どもに休日のクラブ活動へ参加させる上で、重要視することは何ですか。（複数回答）

回答者数＝131 人（地域運動部活動に参加する生徒の保護者）

選択肢	回答数(件)
専門的な指導が期待できる	63
たくさん練習できる	58
子どもの運動能力・体力の向上	88
子どもの人間的、内面的な成長	69
学校外の人との交流	47
友達や知り合いの参加状況	12
子どもの意思	64
安全に活動できる環境	38
その他	0



■問 2-4 子どもが参加しない理由などございましたらご記入ください。（自由記述）

回答
○地域運動部活動に参加しない生徒保護者の主な意見 ・部活動を引退したから ・送迎対応が困難 ・高校で競技を続ける意志がないが無いため ・中学3年生であり、休日の参加が難しい

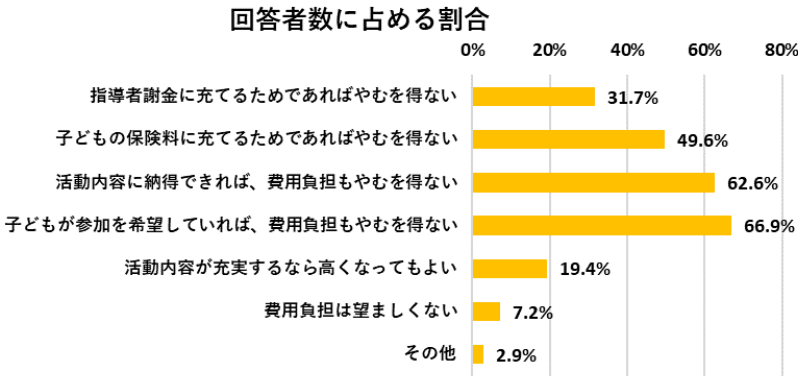
■問 2-5 「休日の部活動が、令和 5 年度から段階的に学校教育から切り離し、地域のスポーツ活動に移行する」ことに対してのご意見をお聞かせください。（自由記述）

主な意見
○地域運動部活動に参加する生徒保護者の主な意見 ・教員の負担が減り、学校教育が良くなることに期待。 ・休日の活動時間が増えてよい。 ・学習との両立に不安を感じる。 ・専門的な指導、複数人からの指導に期待。 ・学校と違う目線からの指導、地域の方との関わりは大事な経験になると思う。 ・子供にとって刺激となり、活力や新たな目標を持つきっかけとなり得る。 ・子どもが満足（充実）しており、今の状態で問題ない。 ・試合に出られない子も、上達できるなら良い。 ・子どもが競技未経験者だと、安心。 ・参加するか、しないか、自由に選択できる雰囲気があると良い。 ・他校生徒との交流も増えればより良い。 ・顧問との指導方針に違いがないか不安。 ・顧問の先生と、地域の指導者間で、生徒の情報などは十分に情報交換してもらいたい。 ・親の理解が不十分のまま進んでいる。 ・活動中の責任の所在や、連絡先が明確ではない。 ・指導者の資質を確保できるか不安（臆惧、感情的な指導、暴言等の教育的な配慮ができるか等） ・クラブ活動で練習時間が増えている。適度な休みは必要だと感じる。 ・無理してまで休日まで活動する必要はない。 ・休日も部活動の延長のような形で、部活単位で実施する方が望ましい。 ・クラブ活動の指導に魅力がない。 ・方向性が定まらない状況でクラブ化にするのは反対。 ・大会参加の扱いがどうなるのか不安。 ・全ての部活動で継続的に指導できる指導者を確保できるかどうか疑問。 ・自由参加のスポーツクラブで人数が集まらないのではないかな。 ・経済的な負担が増えるのが心配 ・練習会場などへの送迎に対する負担が心配（休日や夜間時の活動に対する送迎等）。 ・保護者が自分の子どもを教えるような環境は良くない。 ・学校と離れることによって、「自校の勝利」という意識、誇りが持てるのかが心配。 ・安全な環境下での活動ができるか心配。 ○地域運動部活動に参加しない生徒の保護者意見 ・子供がやる気があるのならいいことだと思う。 ・地域の指導者からの指導は、顧問の先生とは違う指導があって、刺激になってよい ・指導者の資質が分からないので不安 ・具体的な活動内容が分からない。 ・費用に対し満足出来る成長が見込めるかどうか。 ・部活との違いに迷う子ども達をうまくケアしていけるか。

■問 2-6 子どもが地域スポーツ活動に参加する際に、子どもの保険料や参加費用等、負担が増える可能性があります。費用負担に対する考え方をお聞かせください。（複数回答）

回答者数＝139 人

選択肢	回答数(件)
指導者謝金に充てるためであればやむを得ない	44
子どもの保険料に充てるためであればやむを得ない	69
活動内容に納得できれば、費用負担もやむを得ない	87
子どもが参加を希望していれば、費用負担もやむを得ない	93
活動内容が充実するなら高くなってもよい	27
費用負担は望ましくない	10
その他	4



その他の回答

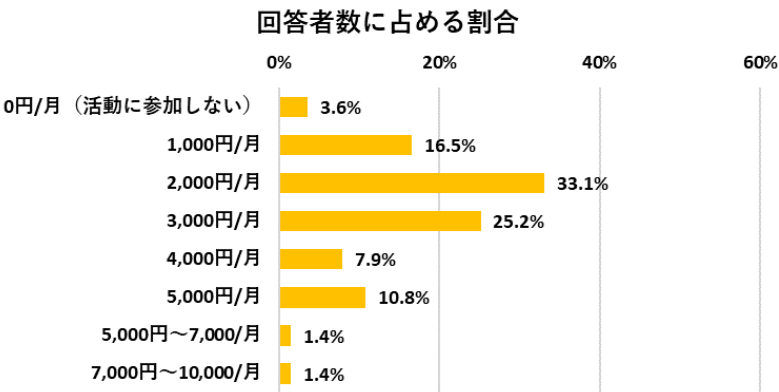
- ・高額な負担は望ましくない。
- ・費用負担はなるべく少なくしたい。
- ・地域スポーツ活動に経費が掛かるのであれば見直したほうがいいと思います、部活費もあるので家庭からの支出が増えるので厳しい。
- ・民間のスポーツクラブによって技術的成長が期待できるのであれば週一回のクラブに入っても良いかとも思いますが、個人的な意見としては中学校生活で費用負担してまで民間のスポーツクラブへの加入は強制的でなければ考えていないです。

■問 2-7 民間のスポーツクラブでは週 1 回の活動（月 4 回）で、月額 5,000 円以上を支払う例があります。地域のスポーツクラブでの活動について、あなたがその内容、方針に納得している場合に、いくらまでであれば子どもに参加させたいと考えますか。（単一回答）

※週 1 回（月 4 回）の活動で、競技や指導経験のある指導者から指導を受ける場合についてお伺いします。（現在のクラブ活動についてお伺いするものではありません。）

回答者数＝139 人

選択肢	回答数(件)
0 円/月（活動に参加しない）	5
1,000 円/月	23
2,000 円/月	46
3,000 円/月	35
4,000 円/月	11
5,000 円/月	15
5,000 円～7,000 円/月	2
7,000 円～10,000 円/月	2



3 指導者回答結果

(1) 調査回答件数 17 件

(2) 回答者の属性 (単一回答)

■問 3-1 担当している部活動種目 (単一回答)

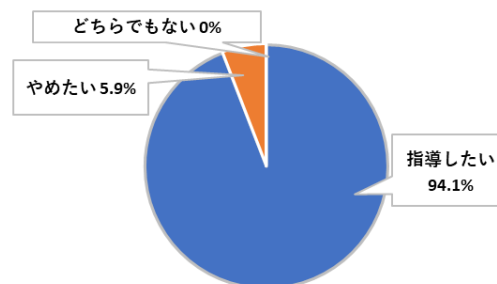
	柔道	剣道	サッカー	バドミントン	バスケットボール	ボート	全体
回答件数	2	3	2	3	3	4	17
割合 (%)	11.8%	17.6%	11.8%	17.6%	17.6%	23.5%	100%

(3) 集計結果

■問 3-2 今後、地域のスポーツ活動として、中学生を対象に指導を続けたいですか。(単一回答)

回答者数=17

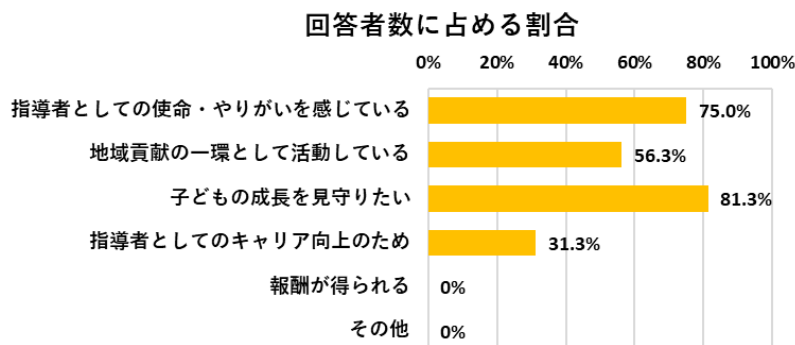
選択肢	回答数(件)	割合 (%)
指導したい	16	94.1%
やめたい	1	5.9%
どちらでもない	0	0%
合計	17	100%



■問 3-3 現在、指導者として活動している理由を教えてください。(複数回答)

回答者数=16 (指導者としての活動を続けたいと答えた指導者)

選択肢	回答数(件)
指導者としての使命・やりがいを感じている	12
地域貢献の一環として参加している	9
子どもの成長を見守りたい	13
指導者としてのキャリア向上のため	5
報酬が得られる	0
その他	0



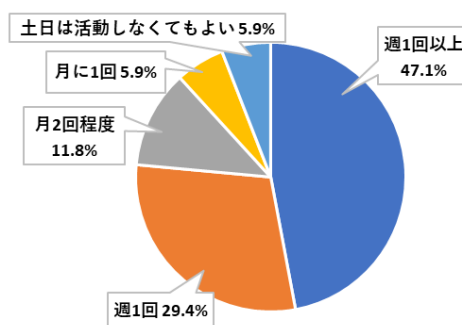
■問 3-4 指導者としての活動を「やめたい」または「どちらでもない」と回答した理由をおしえてください。(自由記述)

回答
○問 3-2 指導者を「やめたい」、「どちらでもない」と回答した指導者の意見 ・大変だから

■問 3-5 地域のスポーツ活動として、休日にどの程度、指導に携わりたいと考えていますか。(単一回答)

回答者数=17

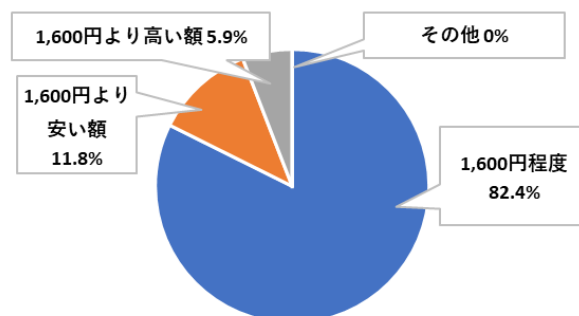
選択肢	回答数(件)	割合(%)
週1回以上	8	47.1%
週1回	5	29.4%
月に2回程度	2	11.8%
月に1回	1	5.9%
土日は活動しなくてもよい	1	5.9%
合計	17	100%



■問 3-6 指導者の報酬額はどの程度がふさわしいと考えますか。自身の資格や指導技術を踏まえ、自由に選択してください。(単一回答)

回答者数=17

選択肢	回答数(件)	割合(%)
1,600 円/h ※程度が妥当である	14	82.4%
(上記より)もう少し安くてよい	2	11.8%
(上記より)もう少し高くてもよい	1	5.9%
その他	0	0%
合計	17	100%



※スポーツ庁が示している基準単価

■問 3-7 平日の学校部活動の指導内容をどのような方法で把握していますか。

回答
○学校部活動の指導内容を把握している方の主な連携方法 (82.4%) ・自身が部活動顧問であり、スポーツクラブの指導を兼務している。 ・部活動顧問との情報共有 (SNS、会話等) ・平日の指導にも参画 ・部活動顧問と前日に相談して決めている。

■問 3-8 平日の学校部活動と連携して取り組んだ内容があればご記入ください。(自由記述)

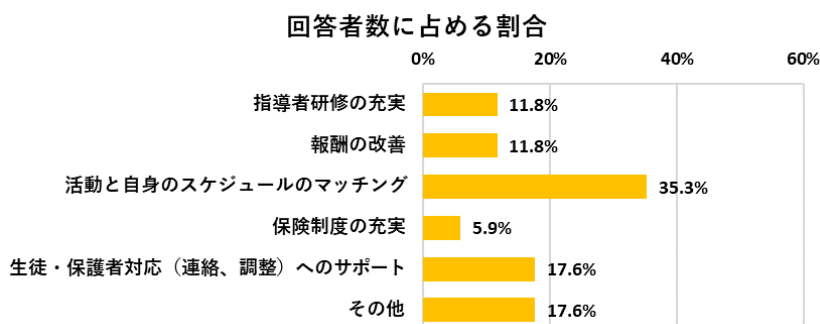
回答
○取り組みの主な内容 ・平日の学校部活動の指導方針に沿った指導に配慮するため、他の指導者ともこまめに連絡を取り合う。 ・これまでの部活動のメニューをクラブ活動主体で改善し、部活動で実践。 ・SNSなどでトレーニング状況を把握し、気がかりがあれば顧問を通じて指導。 ・平日の部活動の時間、学校行事を把握した上で、平日および休日の練習メニューを考え顧問へ連絡 ・部活とクラブの指導方針を統一

- ・測定等の記録を共有し、選手の状態を把握
- ・生徒の状態の共有（けがの状態、心理状態等）
- ・休日のクラブ活動で技術指導を行い平日でも意識してできるように課題を与える。
- ・指導の役割分担
- ・戦術についてよく話し合い、決定した
- ・限られた時間の中で生徒とコミュニケーションをとりどのようにすれば効率よく練習ができるか生徒に考えさせ、練習メニューを決めた。
- ・部活動顧問がスポーツクラブでの指導者を兼務

■問 3-9 ご自身が中学生の指導を続けていく上で重要だと思うことは何ですか。指導者の視点から、重要だと思うもの1つを選んでください。

回答者数=17

選択肢	回答数(件)	割合(%)
指導者研修の充実	2	11.8%
報酬の改善	2	11.8%
活動と自身のスケジュールのマッチング	6	35.3%
保険制度の充実（万が一の事故時の補償）	1	5.9%
生徒・保護者対応（連絡、調整）へのサポート	3	17.6%
その他	3	17.6%
合計	17	100%



その他の回答

- ・専門性の向上（ジュニア世代への指導、技術指導のアップデート）
- ・生徒のやる気、顧問の先生との意思統一
- ・人を増やす

4 顧問・副顧問回答結果

(1) 調査回答件数 11 件

(2) 回答者の属性 (単一回答)

■問 4-1 顧問・副顧問の別

	顧問	副顧問	全体
回答件数	7	4	11
割合 (%)	63.6%	36.4%	100%

■問 4-2 担当している部活動種目 (単一回答)

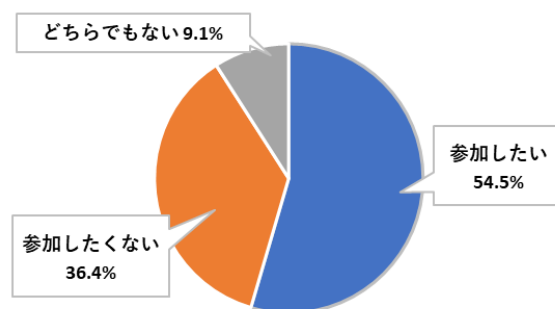
	柔道	剣道	サッカー	バドミントン	バスケットボール	ボート	全体
回答件数	2	2	1	3	1	2	11
割合 (%)	18.2%	18.2%	9.1%	27.3%	9.1%	18.2%	100%

(3) 集計結果

■問 4-3 休日の部活動が地域のスポーツ活動に移行された場合、スポーツクラブ等の指導者として参加したいですか。(単一回答)

回答者数=11

選択肢	回答数(件)	割合 (%)
参加したい	6	54.5%
参加したくない	4	36.4%
どちらでもない	1	9.1%
合計	11	100%



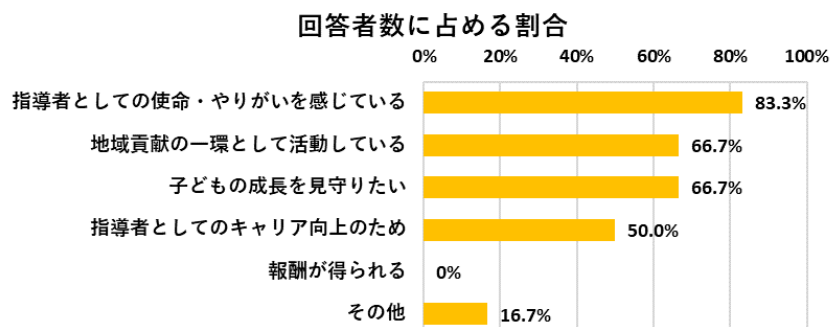
■問 4-4 スポーツクラブ等の指導者として参加したい理由を教えてください。(複数回答)

回答者数=6 (指導者として参加を希望する顧問・副顧問)

選択肢	回答数(件)
指導者としての使命・やりがいを感じている	5
地域貢献の一環として参加している	4
子どもの成長を見守りたい	4
指導者としてのキャリア向上のため	3
報酬が得られる	0
その他	1

その他の回答

(・やりたい競技なら参加したい気持ちがある。)



■問 4-5 指導者として「参加したくない」または「どちらでもない」と記載した理由をおしえてください。（自由記述）

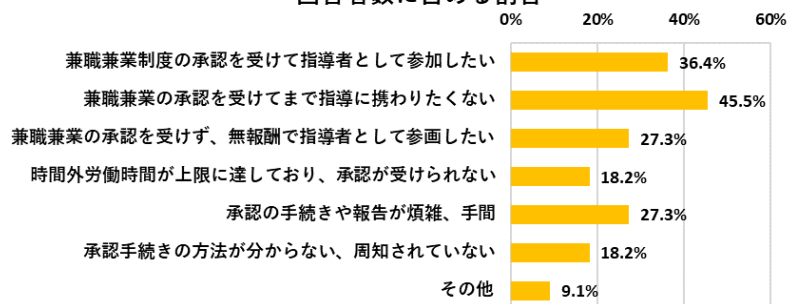
問 4-3 指導者として「参加したくない」、「どちらでもない」と回答した顧問・副顧問の主な意見
・休みをとりたい。 ・競技経験がなく、専門的な指導ができない。 ・部活動とスポーツクラブでの活動の区別を意識づけるため、教員は指導に関わらない方がよい。 ・指導に対する考え方の違いで活動に支障がでるおそれがある。

■問 4-6 兼職兼業制度についてお伺いします。当てはまるものすべて選んでください。（複数回答）

回答者数＝11

選択肢	回答数(件)
兼職兼業の承認を受けた上で指導者として参画したい	4
兼職兼業の承認を受けてまで指導に携わりたくない	5
兼職兼業の承認を受けず、無報酬で指導者として参画したい	3
時間外労働時間が上限（80 時間）に達しており、承認が受けられない。（または受けづらい）	2
承認の手続きや報告が煩雑、手間	3
承認手続きの方法が分からない、周知されていない。	2
その他	1

回答者数に占める割合



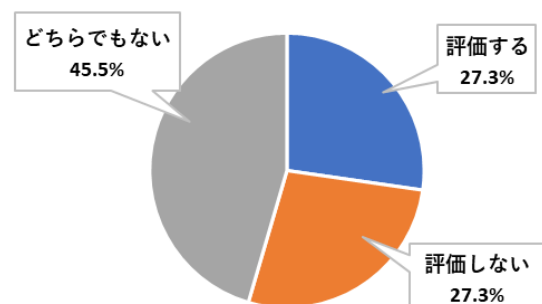
その他の回答

（・そもそも、部活動を切り離れたとしても、生徒が下校するまでは、ほぼ自分の仕事ができないというのがおかしいのではないですか）

■問 4-7 今年度実施した、休日の部活動を地域のスポーツクラブへ移行する取り組みを、あなたは顧問（副顧問）として評価しますか。（単一回答）

回答者数＝11

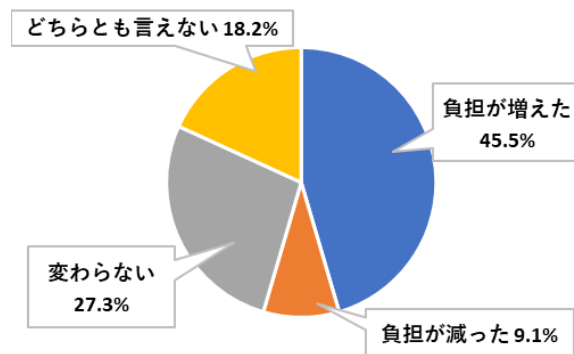
選択肢	回答数(件)	割合(%)
評価する	3	27.3%
評価しない	3	27.3%
どちらでもない	5	45.5%
割合(%)	11	100%



■問 4-8 休日の部活動が地域のスポーツクラブで活動するようになり、あなたの教員としての負担は変化しましたか。（単一回答）

回答者数=11

選択肢	回答数(件)	割合(%)
負担が増えたと感じる	5	45.5%
負担が減ったと感じる	1	9.1%
負担感は変わらない	3	27.3%
どちらとも言えない	2	18.2%
割合(%)	11	100%



問 4-8 の選択理由

- 「負担感が増えた」と答えた顧問・副顧問の主な回答（45.5%）
 - ・指導者は日中仕事をされているため、連絡が取りづらい。
 - ・事務的な作業、トラブルへの対処など、負担は倍増した。
 - ・これまで学校内（顧問・副顧問）で決めていたことが、指導者同士の話し合いが必要となった。
- 「負担感が減った」と答えた顧問・副顧問の主な回答（9.1%）
 - ・休日の出勤が減った。
- 「負担感は変わらない」と答えた顧問・副顧問の主な回答（27.3%）
 - ・活動の時間は変わってない。
 - ・完全移行にしてみないと報告書などを作成する手間がかかる。
- 「どちらとも言えない」と答えた顧問・副顧問の主な回答（18.2%）
 - ・指導に関する負担は軽減される面もあるが、クラブ関係者や市担当者、保護者と連絡を取り合ったりするなどの負担は増えた。
 - ・指導の役割分担が明確となった点は良かったが、指導したい教員がいた場合に地域指導者との調整が難しくなることが予想される。

■問 4-9 「休日の部活動が、令和 5 年度から段階的に学校教育から切り離し、地域のスポーツ活動に移行する」ことに対してのご意見をお聞かせください。（自由記述）

主な意見

- ・教員と地域指導者で見方・考え方が違うため、指導者との連携が非常に大切であると感じた。
- ・そもそも同一チームに運営主体が異なるのは無理がある。
- ・指導者間での話し合いが相当必要だが、お互い仕事をしながらであるため、十分な時間が取れない。
- ・教育的な配慮ができる指導者の確保できるか不安。
- ・今後こういった形でクラブ化を進めていくのか、学校や地域指導者等で共通認識する必要がある。
- ・トラブル対処は誰がするのか。結局、生徒のケア等、学校が対応することになるのではないか。
- ・負担軽減するためには、地域移行の完全移行しかないと思う。

- ・地域スポーツにかかわるなら種目を指定させてほしい。他種目ならかかわる気はない。
- ・部活動の指導は負担。部活動は休日禁止でお願いしたい。
- ・指導者も参加者も気軽に参加できる制度にしてほしいです。
- ・地域の指導者の多くは保護者であり、子供が在籍している期間のみの指導となるのではないか。
- ・子どもと関わるよりも指導者や保護者といった大人とのやり取りの方が負担に感じる。指導者と保護者の間に学校を挟むのは絶対にやめていただきたいです。
- ・地域指導者に責任を自覚させること、学校部活動の助長防止の点から、指導者報酬は出すべき。

4 学校関係者回答結果

(1) 調査回答件数 2 件

(2) 回答結果

■問 6-1 部活動を地域のスポーツクラブで活動する取り組みに対し、周囲（生徒・保護者・教諭）の反応はどのようなものでしたか。把握している範囲でご記入ください。（自由記述）

主な意見
生 徒：技術的指導が充実し満足している生徒が多い。 保護者：スポーツクラブと学校部活動の区別ができていない保護者が多い。 教 諭：モデル部活動として対象になった顧問は、頭では理解していても、地域指導者との関わりや部活運営において、苦労や悩みが日に日に増しているようである。他の教諭は、本校の取り組みについて様子を見ている状況である。 その他：受け皿として競技団体は組織力があって良いが、全ての団体担えるわけではない。

■問 5-2 「休日の部活動が、令和5年度から段階的に学校教育から切り離し、地域のスポーツ活動に移行する」ことに対してのご意見をお聞かせください。

主な意見
・学校、行政、地域で地域スポーツ活動に対する共通認識を図る必要がある。 ・地域指導者の資質をどう確保していくのか。 ・指導の一貫性の確保が重要だが、調整は難しく、顧問に負担が生じる。 ・地域スポーツ活動時のトラブルの責任の所在、学校への影響が心配 ・指導を希望する教員に対し、兼職兼業を柔軟に認める等の運用ができないか。 ・学校体育施設以外の活動場所の確保が必要 ・地域のスポーツ環境の整備が必要（クラブの運営体制強化、指導者の確保、市町スポーツ協会や競技団体との連携等） ・指導者を確保するためには地域の指導者にもメリットと、指導に対する対価がしっかりわたる仕組みを作らないといけない。 ・今まで生徒保護者の金銭的、時間的負担を抑えられていた部活動の取り組みと同等以上の事を地域スポーツクラブに求められても、できない。結果、保護者負担が増加するので、それがネックとなりクラブに入らない生徒には、ただ部活動が縮小していく形にしかない。

4 クラブ代表者回答結果

(1) 調査回答件数 4 件

(2) 回答結果

■問 6-1 どのような方法で指導者を確保しましたか。(自由記述)

主な回答
・競技団体からの紹介、指導に携わる者に依頼 ・顧問・校長等の個別的な人脈 ・スポーツクラブの指導者に依頼

■問 6-2 今後の指導者確保に向けたご意見をお聞かせください。

主な意見
・指導上で必要な資格取得費用等に対する支援が必要 ・指導者にも都合があるため、全ての活動に参加いただくことは難しい。指導者の増員が必要 ・女性指導者の養成も取り組む。 ・指導者に一定の謝金を支払える体制を検討していく。 ・地域に指導者協力を依頼するチラシを配布。 ・種目毎に一定の人数の地域指導者を確保するには、種目協会、スポーツ少年団などと連携して派遣協力する必要がある。 ・指導実績のある教員が指導者として参加しやすい環境をつくるのが大切

■問 6-3 中学生を対象とするスポーツ活動をクラブとして運営していくことに対し、どのような点に困難を感じましたか。(複数回答)

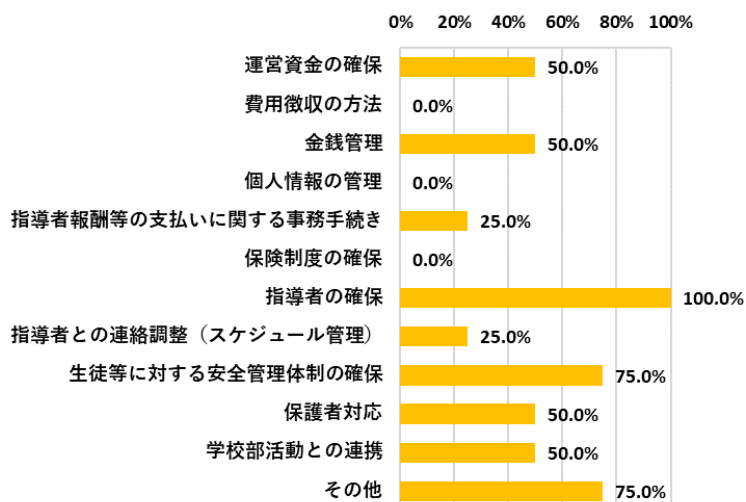
回答者数=4 人

選択肢	回答数(件)
運営資金の確保	2
費用徴収の方法	0
金銭管理	2
個人情報の管理	0
指導者報酬等の支払いに関する事務手続き	1
保険制度の確保	0
指導者の確保	4
指導者との連絡調整(スケジュール管理)	1
生徒に対する安全管理体制の確保	3
保護者対応	2
学校部活動との連携	2
その他	3

その他の回答

- ・活動場所の確保 2 件
 ・部員の募集拡大

回答者数に占める割合



問 6-3 に選択肢に対する主な意見

[運営資金の確保]

- ・ 今後、活動運営費の全てを保護者からで賄う場合、更に保護者の理解を得る必要がある。
- ・ クラブ運営に対する支援団体の募集や寄付活動を模索する必要がある。
- ・ 指導者謝金の資金をどこから捻出するかが課題。

[金銭管理]

- ・ 会計方法に問題がないか、判断できない。
- ・ 会計を担当する者がいない場合、金銭の管理がクラブの負担になる。

[指導者の確保] [指導者報酬等の支払いに関する事務手続き]

- ・ 一部の種目の指導者にのみ謝礼を支払うことに対し、他種目の指導者の理解が得られるかが課題

[指導者の確保]

- ・ 指導上必要な資格取得に高額な費用が発生する。
- ・ 自律的な運営となるまでは公的支援が必要である。

[指導者の確保] [指導者との連絡調整（スケジュール管理）]

- ・ 種目ごとに核となる人材（指導者）の存在を確保できるかが、クラブの運営に大きく影響。

[生徒に対する安全指導体制の確保]

- ・ 万が一の救助体制、気象環境の把握、関連資材の準備、熱中症対策や選手の体調管理を行う必要がある。

[保護者対応] [学校部活動との連携]

- ・ 部活動顧問の参画等により、保護者・学校の理解、連携を図ることは必須

[学校部活動との連携]

- ・ 学校部活動とスポーツクラブでの活動の区別について、中学校先生の理解が不足していると感じる。

[部員の拡大募集]

- ・ 県域で選手を募集するために、各自治体教育委員会に案内チラシの学校配布の協力をいただきたい。

[活動場所の確保]

- ・ 休日の部活動の場所が重なり、中学校体育施設だけでは活動場所が不足するが、公民館・小学校体育館を確保することも難しい。（スポ少との活動と重なる）

■問 6-4 「休日の部活動が、令和5年度から段階的に学校教育から切り離し、地域スポーツ活動に移行する」ことに対してのご意見をお聞かせください。(自由記述)

主な意見
・部活動の地域への移行は、地域や保護者への負担が増えるだけで、教員の働き方改革には繋がらない。 ・教員業務の負担は、部活動だけが原因ではなく、教員数を増やし、業務を大勢で分担する等、その他の方策が必要である。 ・学校教育における部活動の役割は大きく、集団活動における一体感の醸成や人間形成等に対する貢献度は計り知れない。 ・令和5年度からスムーズに地域へ移行していくとは思えない。県教委・各市町の教育委員会が、もっと訴えていかないとだめなのではないか。 ・移行の体制の出来ている部活から、順次移行すればいいと思う。ただし、移行するメリットがない場合は、今後も進展しないと思う。 ・スポーツクラブが全面的に受入れ出来ることは難しい。 ・活動する場所を優先的に占有できる制度が必要